

ウイルス対策ソフト設定手順

～カスペルスキー (KASPERSKY) の場合 Ver1.00～

目次	
はじめに	1
現象	2
現象 1	2
現象 2	2
対策設定手順	3
隔離されたファイルの確認	3
例外設定	4
基本システムのセットアップ	8

最終更新日:2019 年 1 月 11 日

はじめに

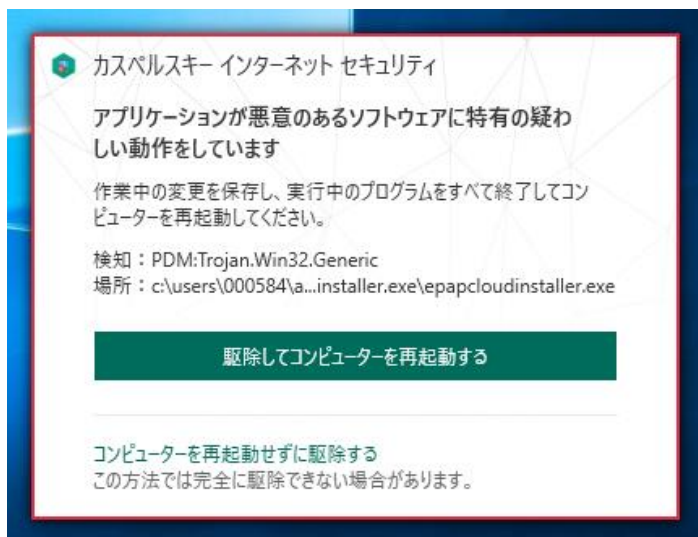
e-PAP クラウドを利用するにあたり、ウイルス対策ソフトに誤検知されることがあります。その場合には、除外リストに追加する等の対処の必要があります。

以下はウイルス対策ソフトによって起きる現象の説明と設定手順となります。

現象

現象 1

e-PAP クラウド起動時にカスペルスキーから「アプリケーションが悪意のあるソフトウェアに特有の疑わしい動作をしています」とポップアップ通知される場合があります。



現象 2

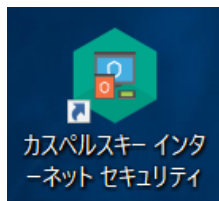
ログインできなくなってしまう場合があります。

対策設定手順

初めに、e-PAP に関わるファイルが隔離されていないかを確認してください。隔離されていない場合は例外設定に追加してください。この 2 点で解決できない場合は基本システムのセットアップをしてください。

隔離されたファイルの確認

カスペルスキーインターネットセキュリティを起動します。



「便利ツール」を選択します。



「隔離」を選択します。



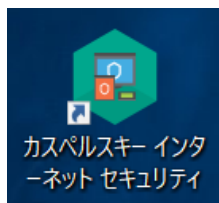
カスペルスキー (KASPERSKY) 設定手順書

“EssamSoftware”ファイルが隔離されていた場合、赤枠内の一覧に表示されますのでファイルを選択し「復元」を選択します。



例外設定

カスペルスキーインターネットセキュリティを起動します。



(設定)を選択します。



カスペルスキー (KASPERSKY) 設定手順書

「詳細」を選択し、「検知する脅威と除外リスト」を選択します。



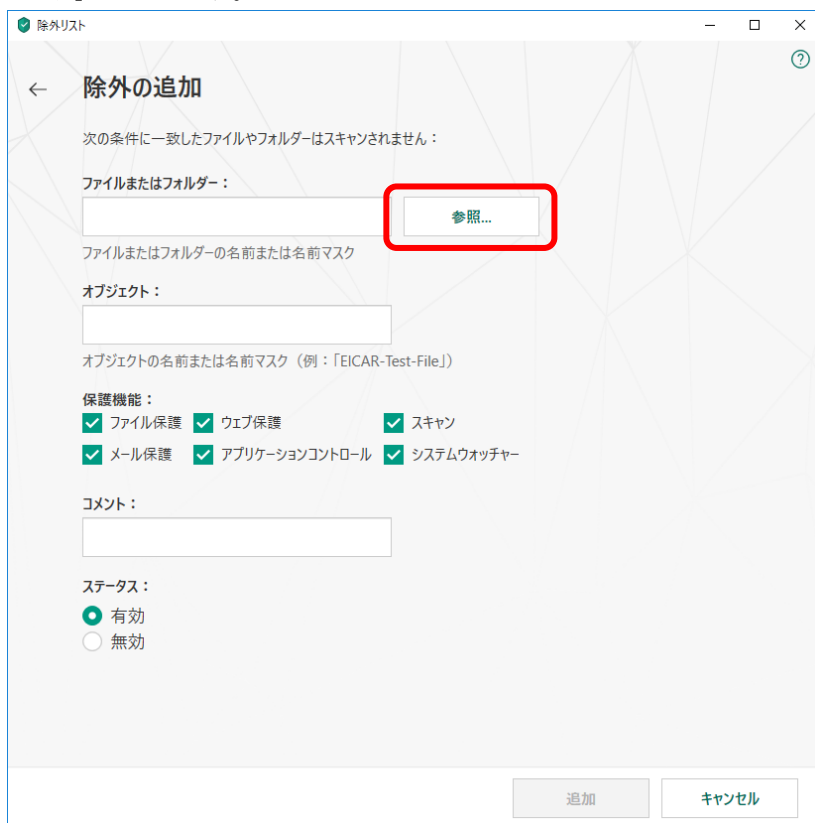
「信頼リストの設定」を選択します。



「追加」を選択します。

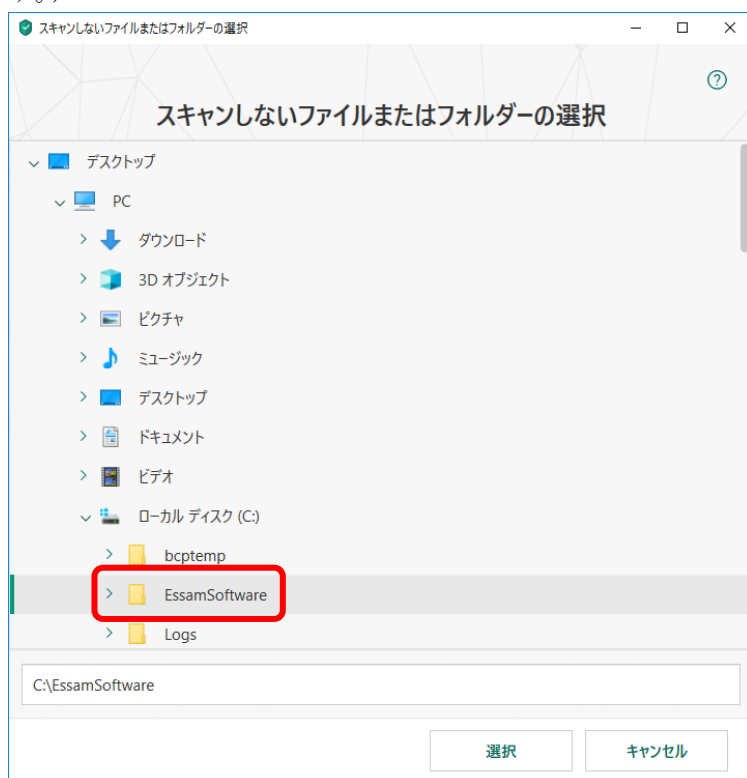


「参照」を選択します。



カスペルスキー (KASPERSKY) 設定手順書

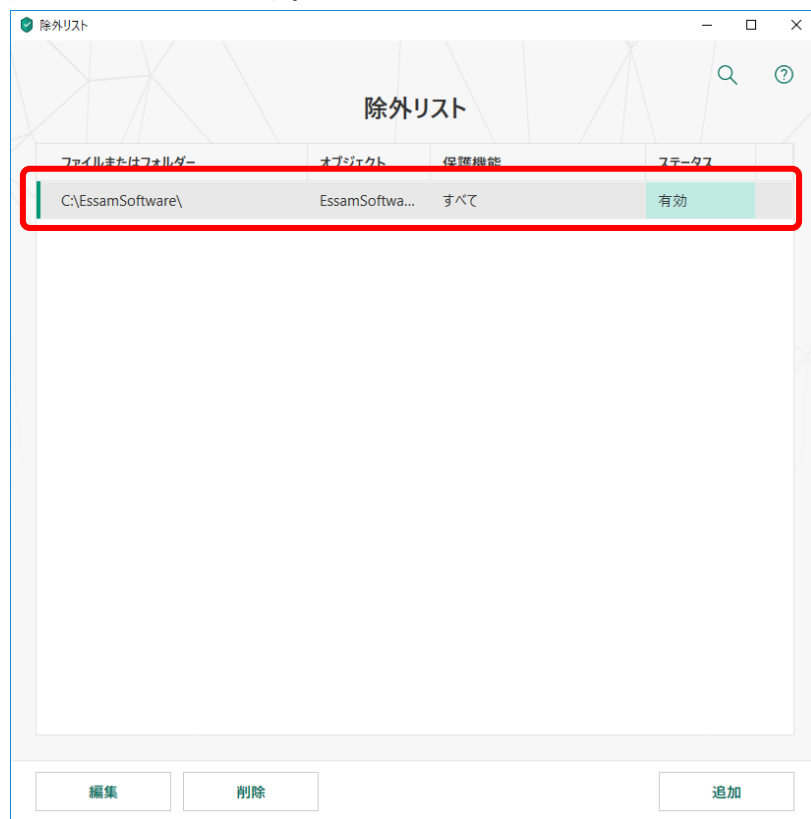
隔離されたファイルを選択し、「OK」を選択します。(例：“EssamSoftware”が付くファイルの絶対パスを選択します。)



「保護機能」すべてにチェックを入れ、「ステータス」を有効にしてから、「追加」を選択します。(オブジェクトの入力は任意です。)



除外リストに追加されます。



基本システムのセットアップ

隔離されたファイルの復元と例外設定をしても e-PAP クラウドが正常に動作しない場合、一度アンインストールしてから基本システムをセットアップしてください。

基本システムのアンインストール、セットアップ方法は e-PAP クラウドサイト内サポートメニューを参照ください。
(<http://www.essamcloud.net/epap/spmenu.php>)

■ 各種手順書, ツール

導入手順書	接続チェックツール	基本システム	利用ユーザー登録手順
e-PAPクラウドをご利用いただくための手順をまとめました。はじめて e-PAPクラウドをご利用になる方は、こちらをご覧ください。	e-PAPクラウドの導入前に、ソフトを快適に利用いただけるかどうか、簡単に接続環境を確認できるツールです。	e-PAPクラウドのソフトを利用するPCには、あらかじめ、この基本システムをセットアップいただく必要があります。	e-PAPクラウドを利用するユーザーを登録いただく手順です。事務所代表者以外の方が利用する場合は利用ユーザー登録が必要です。
導入手順を見る 導入手順書 (PDF)	ご利用手順書 ダウンロードする	セットアップ手順書 ダウンロードする	設定手順書 利用ユーザー設定